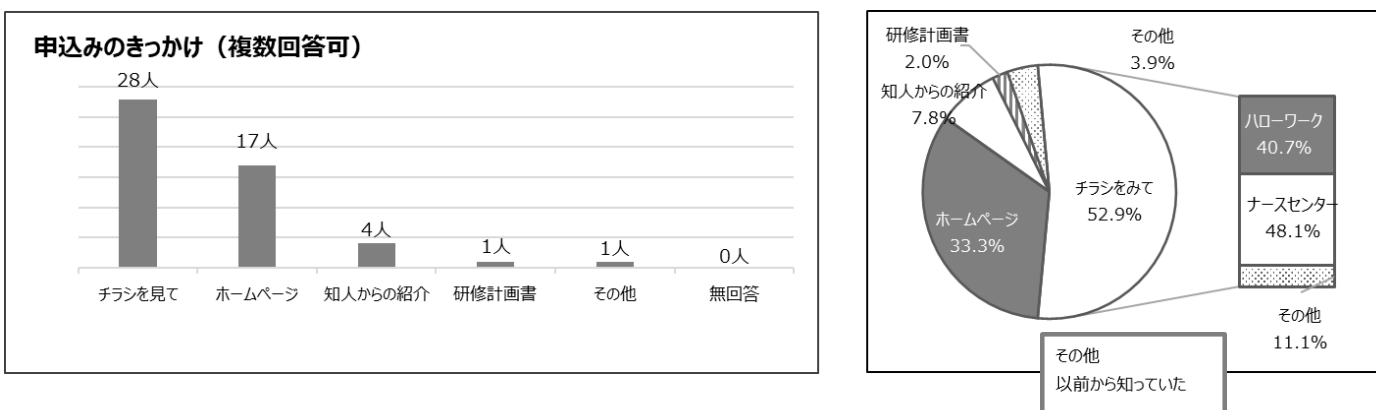
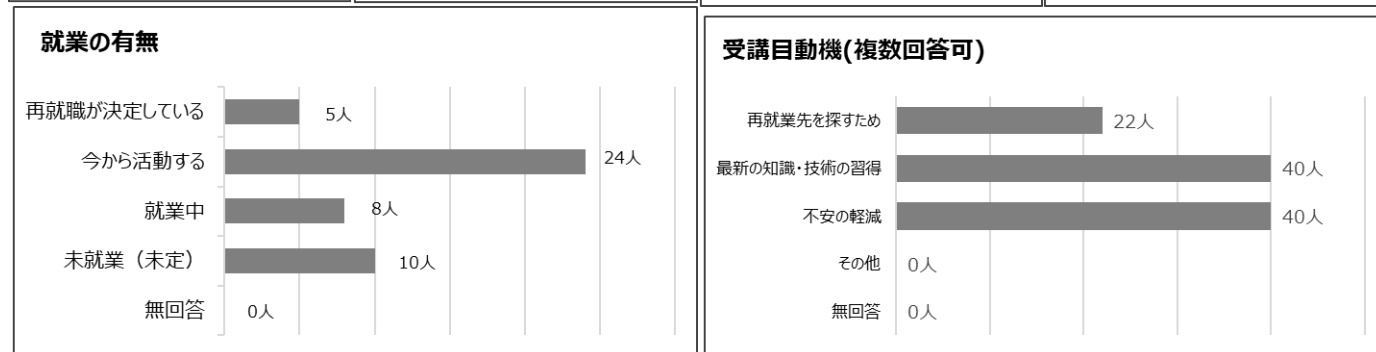
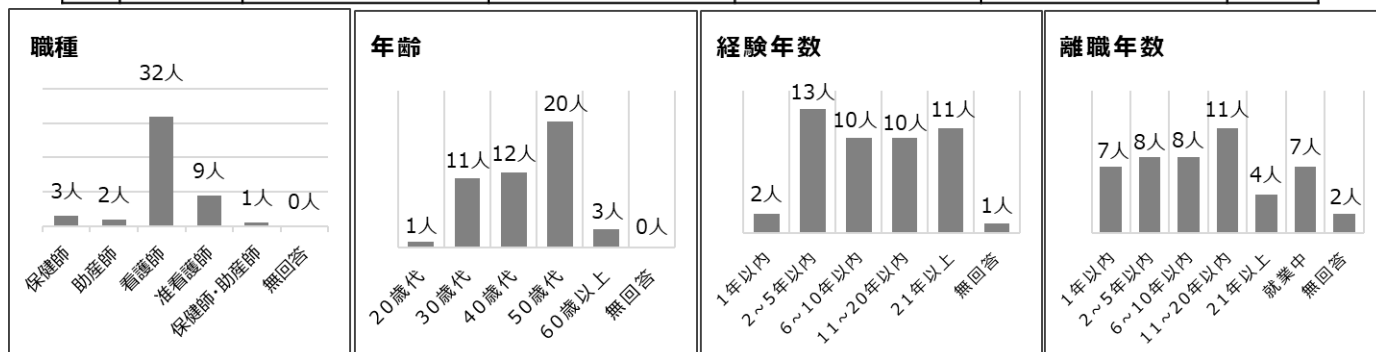


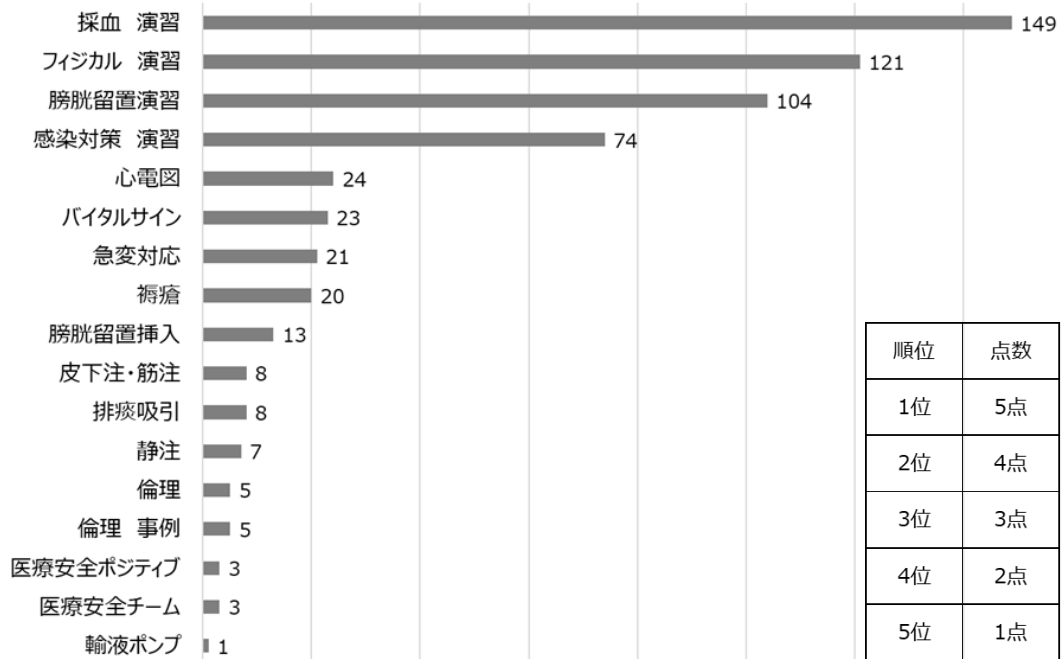
復職支援研修

目的：未就業看護職員の看護技術実践能力と就業意欲を高め、潜在化防止、再就業促進を図る。

		1日目	2日目	3日目	4日目	申込 締切
午前		【eラーニング】	【eラーニング】	【eラーニング】	【eラーニング】	
10:00 ～12:00		・臨床倫理 ・医療安全	・皮下注・筋注・静注 ・輸液ポンプ	・バイタルサイン測定の意味 ・急変対応 ・心電図モニター	・褥瘡処置 ・吸引 ・膀胱留置カテーテル	
午後		【講義・演習】	【演習】	【講義・演習】	【演習】	
13:00 ～15:00		・感染管理	・採血・点滴・筋注	・フィジカルアセスメント	・吸引 ・膀胱留置カテーテル	
1	佐世保	4/3 (水)	4/10 (水)	4/17 (水)	4/24 (水)	3/30
2	諫 早	5/8 (水)	5/15 (水)	5/22 (水)	5/29 (水)	4/30
3	佐世保	6/5 (水)	6/12 (水)	6/19 (水)	6/26 (水)	5/30
4	諫 早	7/3 (水)	7/10 (水)	7/17 (水)	7/24 (水)	6/30
5	佐世保	9/4 (水)	9/11 (水)	9/18 (水)	9/25 (水)	8/30
6	諫 早	10/2 (水)	10/9 (水)	10/16 (水)	10/23 (水)	9/30
7	佐世保	12/4 (水)	12/11 (水)	12/18 (水)	12/25 (水)	11/30
8	諫 早	1/8 (水)	1/15 (水)	1/22 (水)	1/29 (水)	12/20
9	佐世保	2/5 (水)	2/12 (水)	2/19 (水)	2/26 (水)	1/30

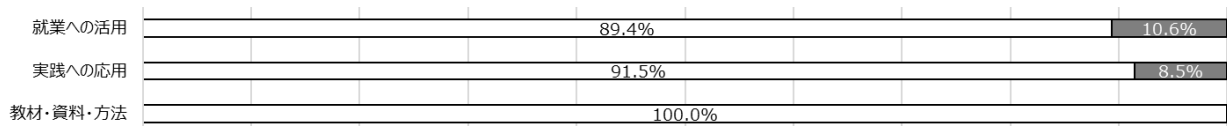


特に役に立った内容（上位5位）

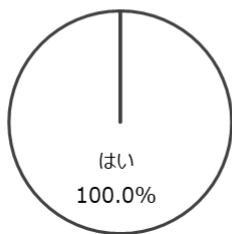


内容について

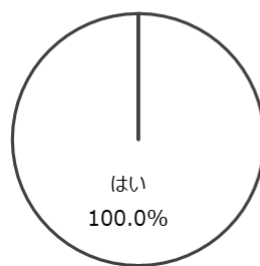
□できた ■ややできた □ややできなかった ■できなかった □無回答



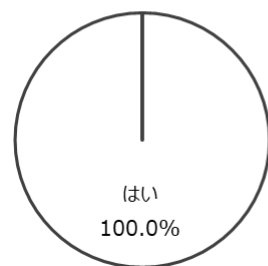
《未就業者対象》
不安の軽減になった



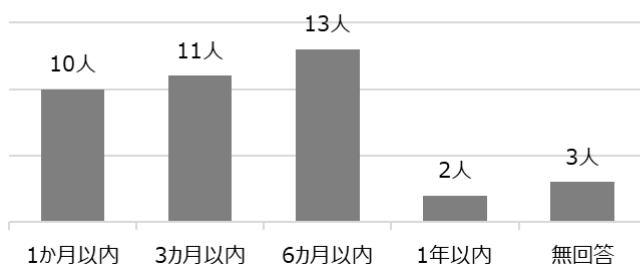
《未就業者対象》
知識・技術の習得ができた



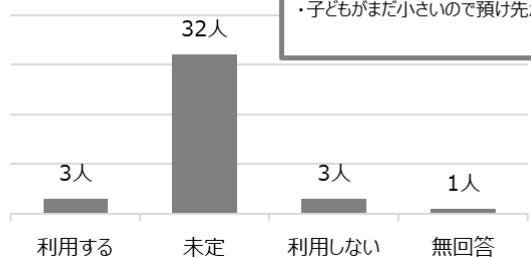
《未就業者対象》
再就業に向けて役に立った



《未就業者対象》
就業予定



《未就業者対象》
体験研修を利用する予定

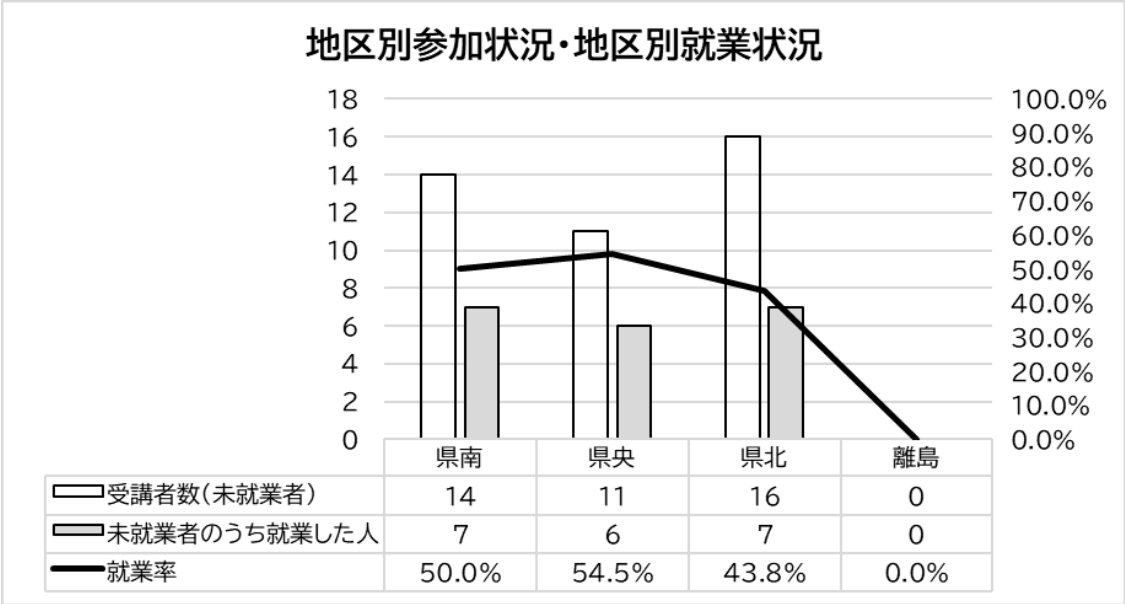


利用しない理由
・就業先が決まっている
・子どもがまだ小さいので預け先がない

平均年齢	経験年数	離職年数
47.5	13	7.9

受講者数	53人
回答者数	47人
回答率	88.7%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。



就業者状況

年齢 \ 離職期間	1年以内	5年以内	10年以内	15年以内	20年以内	21年以上
19才以下						
20才代	1					
30才代		1	2			
40才代		1	2	3		
50才代	2	2			1	5
60才以上						

就業先状況

年齢 \ 就業先	医療施設	診療所等	福祉施設等	その他
19才以下				
20才代	1			
30才代	2	1		
40才代	2	1	3	
50才代	2	3	5	
60才以上				

<評価>

受講後アンケートを実施、アンケート回答数 47 名（回収率 89%）

1, 研修方法について

受講者に 4 段階方式で評価した。教材・資料・方法については「よい」と評価した人が 47 名、実践への応用について「よい」と評価した人が 43 名、就業への活用について「よい」と評価した人が 42 名と内容については特に問題は無かった。

2, 研修の効果について

未就業者に 2 段階方式で評価した。39 名の回答者からの評価では、「不安の軽減になった」39 名、「知識・技術の習得になった」39 名、「再就職に向けて役立った」38 名であった。研修は就業へ効果的だったと考える。

3, 体験研修の希望について

未就業者に確認した。「する」と答えた 3 名（8%）については本人に直接確認した。1 名は希望なし。1 名は就職が決定していた。1 名はすぐではなく本人の都合が良い時に連絡するとのことだった。見学へは 20 件つながった。

4, 他の研修希望について

自由記載で、心電図（4 名）、口腔ケア（2 名）、移乗（2 名）、経管栄養（2 名）、人工呼吸器の管理、服薬管理、体位ドレナージ、シリンジポンプの実践、体位交換、オムツ交換があった。看護スキルアップ研修に含まれる内容もあるので、今年度も研修毎に他の研修の案内を行った。

研修全体の評価

研修内容について各項目全体を上位 5 位まで就業に役に立つ順位を決めてもらった。1 位を 5 点、5 位を 1 点の 5 段階評価として点数化し、合計点数で評価した。

全体評価としては、実践・演習が e-ラーニング学習よりも高かった。好評順位は 1 位:採血・点滴・筋注 149 点、2 位:フィジカルアセスメント 120 点、3 位:吸引・膀胱留置カテーテル 104 点、4 位:感染対策 74 点だった。実施地区で見ると、佐世保地区は 1 位:フィジカルアセスメント 77 点、2 位:採血・点滴・筋注 67 点、3 位:吸引・膀胱留置カテーテル 36 点、4 位:感染対策 31 点で、諫早地区は 1 位:採血・点滴・筋注 82 点、2 位:吸引・膀胱留置カテーテル 68 点、3 位:フィジカルアセスメント及び感染対策 43 点だった。具体的な実践の内容が受講者からは評価が高かった。

<次年度への取組み>

研修内容については好評だったが、受講人数は定員 10 名には達していない。受講者を増やすためには、福祉施設や訪問看護ステーションに参加可能であることを広報し、就業者へのアプローチも必要と考える。就業担当者が施設訪問時に研修アナウンスを実施していきたい。

技術演習の評価が高く、今年度は看護スキルアップ研修Ⅱに看護技術に特化した研修を企画した。復職支援研修受講後の参加者も看護スキルアップ研修Ⅱに参加した人もいたが、次年度は技術演習に特化した研修は無いため、1回に実施するシミュレータを増やして研修時に経験する機会を増やすことも検討しても良いと考える。

広報活動として、今年度は新聞広告への掲載をし、市町村広報誌には全市町村で記載してもらった。辞職者の掘り起こしから就業相談、復職支援研修へとつなげることが大切である。辞職者がつながるように職場管理者へアプローチをすることも取り組みとして必要だと考える。